



発行 者
〒168-8530
杉並区高井戸西1-12-1
養護老人ホーム浴風園

<http://www.yokufuukai.or.jp/yokufuuen>
yokufuuen14.1.15@yokufuukai.or.jp
印刷所 株式会社ユリクリエイト



する そせ手買でにきを類 引ま事い行況ス他 なが日す花時は時のよ今りん触え、時、再と私きすのり事と夕にそ新残々。すでに寒期早でう年と。りま家間何開な事続。再まやな。イレ縁って奇るは暖といよ職度楽地、すでにがをしってき手開しくりとンにとてす麗時春のなもろ員もし味重がい過読またすご洗をたうまなフしないがな期の差りのし皆、んなみ、なぎもしこが協い昨。プしゅるって、桜が嵐がまでくで皆で趣と本がてうたと、力や年新活たたエもてもこを予とあし、お力様い味い屋らいか。も昨よマ以年動。施ン昨い葉の見想いりた浴願をにまがっさスき眺月あ年ろス上度をし設ザ年る桜園るよう、。風い合とす再たんマまめにりかしくにに止かももはか、だのり日まこ園しわっ。開ものホすて1、らくの広入めしあ流新ももよを遅がたのでませてでの剪を。い・控コお着げりる、り行型ししり心く続晴原3すてよきに囲ク今る2え口願用て、こ浴予しコレかが待ないれ稿度。頑りたは気りはと回てナいにいくと風断、ロまし出ちったたを目張良こ到やッ便あ本いウしつけうな園を会ナせたてにてりり書のついと底実ク利っ屋たイまきれブくで許内ウんらいしいで曇い原て生をか際しなとさ本ルすまば活続はさでイ。色るてる、って稿い活、なてせいん屋ス。しと動け季なはル 鮮頃いよ桜たいをきとひい本本のうに巡はて思やて節いクス やはるうがりる書まなっまのを中間行り5 はい行まの状うのか桜で開、今く

新年度に向けて

管理課長 近藤 修



(調理員 片桐 正樹)

お世話になりました ～47年間お疲れ様でした～

私は1977年3月に病院給食に入職し、その後病院から浴風園に移動し現在に至っています。その間合計47年という期間で、人生の5分の3以上を浴風会で過ごしたことになります。今振り返ってみると「よくも長いたもんだな」と自分自身感慨にふけています。

当時私は落ちこぼれの大学生で一回留年し、なおかつ「卒業も危ない」と先生に言われていました。当然4年になっても就職活動は殆どしておらず、周りが次々と就職先が決まっていく中で一人取り残されていました。そんな私も一社だけ友人と小さな商社を受験しましたが、結果友人は合格して私は不合格でした。そして先生の言葉とは裏腹に卒業できることになってしまいました。そんな折浴風会病院検査課にいた友人から「浴風会病院給食に空きがある」と声をかけられたのが浴風会に就職する発端でした。その時は何とか「浴風会に拾ってもらえた」との思いでした。

私はここに就職するまで「福祉」などとはついぞ考えたことがありませんでした。就職してからそんな勉強はほとんどしませんでした。しかしある時、一昨年まで浴風会の理事をしていた神野直彦氏の著作を読んでハッとさせられました。神野氏は福祉とは「悲しみの分かち合い」というのです。「当然年を重ねれば身体のいろいろな部分に不具合が生じてくる、それは悲しみでもある。それを分かち合えば悲しみに暮れている人は幸福になる。しかも分かち合った人間も幸福になる。人間は他者にとって、必要不可欠な存在だと実感できたときに、生きがいを感じ幸福を実感する」というのです。つまり福祉とは与えるだけではなく与えた人も幸せになる、ウィンウィンの関係だということなんです。まあ現実にはそんな単純なことではないかもしれないけれど、この考えは私の心にずっと入ってきました。それ以来そんな悲しみを分かち合うように仕事をしてきたつもりです。しかしこれからは私がその悲しみを分かち合ってもらおうほうに回っていきそうです。

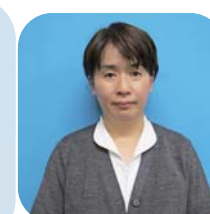
病院時代も浴風園時代も様々な人との出会いや別れがありました。そんな出会いが私の人生を豊かなものにしてくれました。あの時商社に合格していたらまた別の人生があったかもしれませんが、今では不合格で本当に良かったと思っています。長い間ありがとうございました。



職員紹介～よろしくお願いします～



2月から浴風園で働くことになりました小泉です。好きな食べ物は焼肉とラーメンです。趣味は本を読むことです。1日でも早く仕事を覚えてステップアップしたいと思います。尚且つ楽しみながら日々頑張りたいです。
(調理員 小泉 黎介)



はじめまして。2023年10月末より浴風園医務室で勤務させていただく事になりました看護師の國枝みどりと申します。これまでは糖尿病・血液内科・循環器内科などで経験してまいりました。養護老人ホームでの勤務は初めてとなりますが、皆さまのお力になれる様に努力していく所存でございますので、どうぞ宜しくお願いします。
(看護師 國枝 みどり)



張人大(ちょう じんたい)と申します。中国の雲南省から参りました。現在、浴風園で生活相談員として働いており、昨年11月には同施設でソーシャルワークの実習をさせていただきました。未熟な部分が多々あるかと思いますが、謙虚な姿勢で日々精進し、皆様から学びを得ることを心から楽しみにしています。座右の銘は「己の欲せざる所は人に施すなかれ」です。この言葉を胸に、利用者の役に立つことを目指しています。どうぞよろしくお願い致します。
(相談員補助 張 人大)



昨年11月よりお世話になっています。職場の先輩方や利用者さんの優しい声掛けに助けられ、楽しく仕事をさせて頂いています。浴風園の一員として皆さんが毎日笑顔で過ごせるお手伝いができるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。
(事務員 田中 佑季)



☆各ボランティア、一緒に働く仲間も募集中☆

浴風園では様々な形で地域の皆様からご支援をいただいております。各種お問い合わせはメールかFAXにてお送りください。

Mail: yokufuuen14.1.15@yokufuukai.or.jp FAX: 03-3334-1731



作品展示会

大ホールで2日間作品展示会を開催しました。クラブ活動や創作教室、個人で作成した作品が並び、素敵な作品の数々に皆様感心していました。



栄養室より

1月5日 七草がゆ

七草は「セリ・ナズナ・ゴギョウ・ハコベラ・ホトケノザ・スズナ・スズシロ」の七種です。子供の頃に一生懸命覚えた記憶がありませんか？七草は邪気を払うと言われており、無病息災を祈って食べるようになったとも言われています。



2月14日 バレンタイン

ハート尽くしの昼食です。トマトリゾット、ハートのコロッケ、チョコブラウニーでした。



3月7日 落ご飯

生の落は一本一本皮をむき、下茹ですると灰汁で煮汁が真っ黒になりました。瑞々しい落は茹でると柔らかく、口の中でさわやかな苦みを感じました。春の訪れを感じる昼食でした。



3月22日 ぼたもち

小豆を煮るところから始まります。目を離すと焦げ付いてしまうので担当者は小豆に付きっきりです。じっくり時間をかけて作ったあんこはおいしいと好評でした。



行事のお知らせ

諸般の事情により、中止になる場合がありますので、ご了承ください。

お花見会 4月3日

美味しいお弁当と手作りの甘酒を頂きます。

高尾霊園参拝 4月17日

5年振りの高尾霊園参拝です。久しぶりの高尾参拝で故人の冥福を祈ってきます。

新茶会 5月8日

一年に一度の新茶の季節。昼食時に美味しい新茶を頂きます。

衣料品展示会 6月26日

夏物の衣料品を大ホールでお買い物します。

初詣

1月10日第六天神へ初詣に行ってきました。今年一年の健康を祈願してきました。お天気にも恵まれ「来れてよかったわ。」と仰っていました。



2024元旦おせち



節分会

辰年の年男さんは4名、年女さんは9名で、昼食前に集合写真を撮りました。食堂に現れた赤鬼・青鬼とも記念に写真を撮りました。鬼は鰯の焼いた臭いが嫌いということにちなみ、昼食は鰯の蒲焼でした。



ひな祭り

今年も7段の雛人形を正面玄関に飾りました。お雛様の髪飾りがとても煌びやかで皆さん「綺麗ね！」と隅々までご覧になっていました。3月1日の昼食はひな祭りにちなんだごちそうでした。

